ソーシャル イノベーション インデックス 2016

ソーシャル・イノベーション
創出環境の評価

The Economist Intelligence Unit

Sponsored by: 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

総合ランキング

1	米国	84
2	英国	81
3	カナダ	81
4	デンマーク	81
5	ベルギー	81
6	ニュージーランド	81
7	フランス	81
8	ドイツ	81
9	スウェーデン	81
10	スイス	81
11	オーストリア	81
12	韓国	81
13	フィンランド	81
14	ノルウェー	81
15	アイスランド	59
16	オランダ	57.7
17	イタリア	57.5
18	チリ	56.9
19	アイルランド	56.5
20	イスラエル	55.8
21	ポーランド	52.8
22	ポルトガル	52
23	日本	48
24	マレーシア	47.5
25	コロンビア	46.2
26	南アフリカ	45.7
27	ケニア	45.4
28	スペイン	44.8
29	コスタリカ	44
30	ロシア	41.4
31	アルゼンチン	40.3
32	メキシコ	40.2
33	タイ	40.1
34	インド	39
35	ウルグアイ	38
36	ブラジル	37
37	インドネシア	36
38	トルコ	35
39	ガーナ	34
40	中国	33
41	ナイジェリア	31
42	バングラデシュ	30
43	サウジアラビア	29
44	パラグアイ	28
45	フィリピン	27

RANK 02

英国はヨーロッパ諸国の中でトップの２位を獲得。2015年に設立された企業の約200件に1件がコミュニティ利益会社（CIC）で、2016年5月までに12,000件のCICが登録されている。

RANK 12

韓国はアジア太平洋地域の対象国１１カ国中３位にランクされた。ソウル特別市長直属のソウル・イノベーション局は、市民主導のイノベーションを推進する機関で、約１３０万米ドル［約１億３０００万円］規模の予算をベースに取り組みを行っている。

北欧諸国は市民社会の成熟度で上位にランクイン。2008年の金融危機後に見られた、第３セクターの成長を背景に、アイスランドは同分野で１位を獲得した。**デンマーク・ノルウェー・スウェーデン・フィンランド**も上位に選ばれている。

アフリカの一部対象国は、起業ポテンシャルで高いスコアを獲得。**ケニア・南アフリカ・ガーナ・ナイジェリア**は、起業活動の項目で軒並みトップ１５位内にランク入りしている。

RANK 23

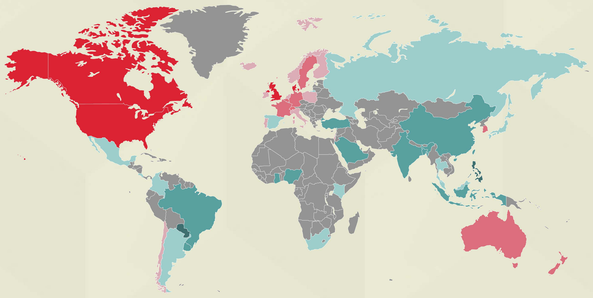
国民の所得水準を考えれば、**日本**の結果は予想を下回るものだ。同国の社会的イニシアティブのほとんどは民間セクターの資金で賄われており、リスクを避ける社会的風潮も起業活動の足かせとなっている。（NPO法人は、政府助成金制度を利用可能）

RANK 29

コスタリカは、経済力を上回る結果を残した。同国には副題張遼直属の機関としてソーシャル・イノベーション委員会が設置され、"Costa Rica Propone"と呼ばれるデータ活用プラットフォームを推進。データに基づく起業家の意思決定を支援している。

ソーシャル・イノベーション・インデックスのスコア

70 - 80	60 - 69	50 - 59	40 - 49	30 - 39	20 - 29



インデックスを構成する４つの項目

政策的・制度的フレームワーク (44.4%)

- 国家レベルの政策
- リサーチと影響の検証
- 法的枠組み
- 政策遂行の効率性

上位５カ国

1 英国
2 米国
3 フランス
4 カナダ
5 韓国

資金調達環境 (22.2%)

- 政府による資金援助
- 融資確保の容易さ
- 公的支出の総額

上位５カ国

1 米国
2 オランダ
3 ニュージーランド
4 ケニア
5 英国

市民社会 (18.3%)

- ボランティア活動
- 政治参加
- 市民社会への関与
- 社会への信頼
- 報道の自由

上位５カ国

1 アイスランド
2 デンマーク
3 アイルランド
4 ノルウェー
5 ニュージーランド

起業活動 (15%)

- リスクテイクの積極性
- 起業家精神への姿勢
- 起業の容易さ
- クラスターの発展度

上位５カ国

1 カナダ
2 米国
3 ベルギー
4 デンマーク
5 英国

詳細についてはウェブサイトをご覧ください：http://bit.ly/socialinnovationIG

© THE ECONOMIST INTELLIGENCE UNIT, 2016